

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25018

学校名：西岡南小学校

改訂のポイント

- 4年間の授業改善計画2年目＜1年目：構想期／2～3年目：追究期／4年目：検証期＞
- つながりを大切にする授業（学びがつながる教材化と学びを深める教師の関わりを大切にした授業づくり）
- 小中一貫・小中連携の取組の見直しと深化

項目名	項目内容	項目内容の具体			
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら問題意識をもって解決に向かう子ども ☆学び合いから、学ぶよさを感じる子ども ※「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けさせる取組			
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ○子どもの実態を捉え、目の前の子どもに身に付けさせたい力の明確化を継続	【成果】 ⇒どの学習でも進んで取り組むことができている。（85%：独自アンケートによる）見通しをもち、仲間と深め合う授業を構成	【課題】 ◇家庭での取組や連携に課題（昨年比－7%：成果と同項目の独自保護者アンケートによる）	
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○言葉をつなげることによる、問題の解決と活用場面の充実化（できうる限りの感染対策を行う）	【成果】 ⇒人の話をしっかりと聞くことができる。（約90%：独自アンケートによる）「きく（聞く・聴く・訊く）」ことを大切にした授業の構成	【課題】 ◇「話して伝える」ことに苦手意識をもっている児童が多い	
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○土台となる既習（知識・技能）を身に付け、引き出し、子どもの問題解決に生かす	【成果】 ⇒課題や問題に対して、よく考えることができる。（約90%：独自アンケートによる）課題・交流・振り返りなど、各場面でめりはりと充実を意識した授業の構成	【課題】 ◇6年間で子どもを育てるための見通しをもった学習指導と基礎的・基本的な技能の定着	
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 自ら考え、学び合う子どもの育成を目指す			
	具体的な改善策（取組）	○前年度の研究の取組を生かし、「つながりを大切にする授業」づくりの視点からの授業改善を行う ○研究授業の教科や領域を広げ、「話す力・きく力」を日々の授業や学級経営の中で育てていく ○学びのユニバーサルデザインを教室環境や授業づくりに生かし、どの子どもも安心して学べる場作り、どの子どもも「わかる・できる・楽しい」授業づくりを行う ○授業公開や研修を通して、小中一貫した教育を目指したパートナー校との連携・協働体制を強化していく ○家庭との連携強化…家庭学習ハンドブック、報告シートの配付と取組の共有化＋望ましい家庭学習の推進（児童への指導） ○一人一台端末を授業や家庭学習に効果的に活用し、「課題探究的な学習の推進」や「情報活用能力の育成」を図る			
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○校内研修等を活用し、「市内小学校5学年を対象とした学習に係る意識調査」結果（札幌市全体の共通指標）や標準学力検査結果、独自アンケート結果等を分析、学校全体の傾向として共有			